

第18回 設楽ダム猛禽類検討会 議事概要

日時：平成30年11月19日（月） 15：40～17：40

1. 設楽ダム猛禽類検討会の経緯

- ・ これまでの検討会経緯等について報告した。
- ・ 各年の行動圏の内部構造については、各年毎の高利用域、営巣中心域と称して整理することとした。

2. 平成30年（2018年）繁殖シーズンの調査結果について

- ・ クマタカ A, B ペアについては、幼鳥の巣立ち及び営巣木周辺での食痕及び糞痕を確認したことを報告した。
- ・ クマタカ C ペアについては、繁殖行動は確認されたが幼鳥の巣立ち及び営巣木は確認されていないことを報告した。
- ・ 2018年高利用域は、クマタカ A ペアが一部北側及び南西側に、クマタカ B ペアが一部北西側に、クマタカ C ペアが一部北東側に広がりを確認し、クマタカ B ペアの一部南側の縮小が確認された他は、大きな変化はなかったことを報告した。
- ・ 2018年営巣中心域は、クマタカ B ペアの一部南側の縮小が確認された他は、大きな変化はなかったことを報告した。
- ・ その他猛禽類のサシバ 1 ペアについては、幼鳥の巣立ち及び新規営巣木直下において糞痕を確認した。サシバ以外の猛禽類については、繁殖行動が確認されなかったことを報告した。

3. 平成30年（2018年）繁殖シーズンのモニタリング結果について

- ・ 工事期間中の定点調査では、忌避、警戒行動等は確認されなかったことを報告した。
- ・ クマタカ C ペアについては、個別の環境保全措置として転流工の発破掘削を対象に回数及び火薬量を段階的に増やす馴化を実施したことを報告した。また、段階毎のモニタリング調査では、忌避や警戒行動等は確認されなかったことを報告した。

4. 平成31年（2019年）繁殖シーズンの調査計画（案）について

- ・ 調査計画は、前年同様に基本とし、以下の留意点を加える計画について了解を得た。
- ・ クマタカ C ペアについては、平成30年（2018年）シーズンで幼鳥及び営巣木が確認されていないことから、コアエリア内全体の繁殖動向及び行動範囲の把握に留意する。また、12月～2月までは必要に応じて調査頻度を増やし、繁殖動向や行動範囲の把握に努める。

- ・ 今後は多数の工事が継続的に予定されていることから、工事の実施状況及び工事中の忌避や警戒行動等の変化を注視する。
- ・ 営巣木付近で工事が実施される際には、工事実施時と休工時の行動範囲等を比較することで、工事とクマタカの行動の関係についての参考情報を得られる。

5. クマタカの環境保全措置の対応方針について

- ・ クマタカBペアについては、今後、近傍で付替道路の工事が予定されていることから、個別の環境保全措置等の実施にあたっては、工事計画及び工事状況、モニタリング調査結果を適時専門家へ報告し対応を検討することとした。
- ・ クマタカCペアについては、平成30年（2018年）シーズンに多くの行動が確認された箇所近傍で工事が予定されていることから、12月のモニタリング結果から環境保全措置、配慮事項について専門家へ報告し対応を検討することとした。
- ・ 今後の工事については、最新の営巣木との距離・位置関係、過去の施工実績、時期から定点調査計画を立案しモニタリングする方針について了解を得た。

以 上